

令和4年度がん教育の実践報告

鹿児島県教育委員会保健体育課

1. 事業の具体的内容について

(1) 自治体における取組

① 協議会について

ア 構成員 (18人)

医師(がん専門医)1人, (内科医)1人, 保健所長1人, NPO法人(がん経験者)1人, モデル校(学校長, 教職員)6人, 養護教諭代表2人, 県くらし保健福祉部健康増進課係長1人, 関係市教育委員会指導主事1人, 県教育庁義務教育課主任指導主事1人, 人権同和教育課主任指導主事1人, 保健体育課長1人, 保健体育課指導主事1人

イ 開催時期、検討内容

【第1回鹿児島県がん教育総合支援事業連絡協議会】

- ・ 開催期日 令和4年7月27日(参加者15人)
- ・ 検討内容

昨年度までの実践の課題を受けて, 本年度は, 教職員を対象とした研修会や医療関係者及びがん経験者等を対象とした研修会の開催, モデル校を小・中・高等学校各1校の3校設置すること, 県健康教育研究大会におけるがん教育分科会の新設などについて提案し, 協議した。

【第2回鹿児島県がん教育総合支援事業連絡協議会】

- ・ 開催期日 令和5年1月23日(参加者14人)
- ・ 検討内容

本年度新規で行った研修会やモデル校の実践, 県健康教育研究大会におけるがん教育分科会の取組などについて報告し, 成果と課題の検証, 次年度に向けての懸案事項等について協議した。

② 教育委員会としての取組

ア 研修会の開催

【がん教育指導者研修会】

- ・ 開催期日 令和4年8月8日
- ・ 対象 公立学校の教職員, 教育委員会等の学校保健担当者
- ・ 講師 がん教育モデル校校長, 養護教諭, がん経験者, 県教育委員会保健体育課
- ・ 参加者 131人

【がん教育外部講師研修会(オンライン)】

- ・ 開催期日 令和4年8月27日
- ・ 対象 医療関係者, がん経験者等
- ・ 講師 大学教授, がん専門医師, がん経験者, 県くらし保健福祉部, 県教育委員会保健体育課
- ・ 参加者 49人

【県健康教育研究大会】

- ・ 開催期日 令和5年2月8日
- ・ 対象 公立学校の教職員, 教育委員会等の学校保健担当者等
- ・ 講師 がん教育モデル校校長, 養護教諭
- ・ 参加者 58人



【県健康教育研究大会がん教育分科会】

【がん教育について周知を行ったその他の研修会】

県保健体育課主催の既存の研修会において、がん教育に関する講義の時間を設定し、がん教育授業の進め方や配慮事項等について周知を行った。周知を行った研修会は以下のとおりである。

- ・ 学校保健・安全・歯科保健講習会（オンライン 10月26日：参加者248人、11月17日：参加者：237人）
- ・ 県高等学校・特別支援学校養護教諭研修会（6月22日：参加者103人）
- ・ 県高等学校・特別支援学校体育担当者研修会（6月24日：参加者109人）
- ・ 小・中学校体育担当者研修会（6月27日：参加者34人、7月6日：参加者82人）

【研修会において周知を行った主な内容】

- ・ がん教育の背景、がん教育の目標、内容
- ・ 保健体育科におけるがん教育授業の進め方、教材等の紹介
- ・ がん教育を進めるに当たっての配慮事項
- ・ がん教育における外部講師の活用



【県高等学校・特別支援学校体育担当者研修会】

イ モデル校の設置

県内小・中・高等学校から各1校ずつ、3校設置し、特に外部講師を活用したがん教育を推進する取組を実施、その成果と課題について検証した。

- ・ モデル校

鹿児島市立宇宿小学校
鹿児島市立清水中学校
県立曾於高等学校

ウ 県がん教育外部講師リストを活用した学校への外部講師派遣の実施

令和3年度に作成した県がん教育外部講師リストを活用し、県内小・中・高等学校30校にがん教育外部講師の派遣を行った。

- ・ 県内学校への派遣希望調査の送付（8月）
- ・ 派遣校の決定（10月）
- ※ 県内学校96校から希望があり、30校の派遣を決定
- ・ 派遣に関する講師や学校との打合せ（10月）
- ・ 学校への外部講師派遣（11月から2月）
- ※ 30校の派遣内訳
 - ・ 小学校15校、中学校9校、高等学校6校
 - ・ 医療関係者7校、がん経験者23校

■モデル校						
学校名	派遣講師	実施形態	派遣日時	対象学年	人数	人数
1 県立曾於高等学校	がん経験者	対面	11/11（金）	2年	1	15
2 鹿児島市立宇宿小学校	がん経験者	対面	11/21（木）	6年	3	89
3 鹿児島市立清水中学校	がん経験者	対面	1/23（月）	2年	1	40

■授業						
学校名	派遣講師	実施形態	派遣日時	対象学年	人数	人数
1 県立志布志高校	がん経験者	対面	11/14（月）	1年	3	88
2 県立福山高校	がん経験者	対面	11/21（月）	1-3年	6	77
3 鹿児島市立伊弉中	がん経験者	対面	11/24（木）	2年	6	232
4 県立屋久島高校	がん経験者	オンライン	11/29（火）	1年	2	63
5 県立吹上高校	がん経験者	対面	11/30（水）	1年	3	55
6 伊仙町立玉緒中	がん経験者	対面	12/2（金）	1-3年	3	66
7 南九州市立九五小	がん経験者	対面	12/6（火）	5-6年	1	15
8 薩摩川内市立可愛小	がん経験者	対面	12/10（土）	6年	3	94
9 枕崎市立立神小	がん経験者	対面	12/13（火）	6年	2	45
10 姶良市立西畑小	がん経験者	対面	12/13（火）	6年	1	27
11 曾於市立恒吉小	がん経験者	対面	12/15（木）	1-6年	3	14
12 肝付町立内之浦中	がん経験者	対面	12/15（木）	2年	1	9
13 長島町立獅子島中	がん経験者	オンライン	12/19（月）	1-3年	3	12
14 鹿児島市立鹿児島商業高校	がん経験者	対面	12/19（月）	1年	6	150
15 南種子町立長谷小	がん経験者	対面	12/20（火）	5-6年	1	11
16 県立加世田高校	がん経験者	対面	12/21（水）	1-2年	6	189
17 伊佐市立立中	がん経験者	対面	12/21（水）	2年	2	51
18 阿久根市立本小	専門医	オンライン	1/17（火）	6年	1	34
19 鹿児島市立南中	専門医	オンライン	1/18（水）	1-3年	3	73
20 大和村立大和中	がん経験者	対面	1/19（木）	2-3年	2	20
21 薩摩町立龍南中	専門医	オンライン	1/19（木）	2年	2	41
22 姶良町立立中	看護師	オンライン	1/23（月）	1-3年	3	50
23 いちき串木野市立羽島小	がん経験者	オンライン	1/25（水）	6年	1	7
24 奄美市立赤木小	がん経験者	オンライン	1/26（木）	6年	1	19
25 霧島市立向花小	がん経験者	対面	1/27（金）	6年	2	55
26 中種子町立星原小	専門医	オンライン	1/27（金）	5-6年	1	7
27 志布志市立兼野小	がん経験者	対面	1/30（月）	6年	2	55
28 鹿児島市立伊弉小	薬剤師	対面	2/1（水）	6年	2	75
29 南大隅町立神山小	看護師	オンライン	2/7（火）	6年	1	30

■家庭教育学級				
学校名	派遣講師	実施形態	派遣日時	人数等
1 南さつま市立長慶小	がん経験者	オンライン	11/21（月）	職員6人、保護者5名

【令和4年度がん教育外部講師派遣一覧】

③ 保健部局や地域の専門機関等との連携

本年度、県くらし保健福祉部健康増進課が、がん教育の授業に活用できる「鹿児島県版の副教材」を作成した。県教育委員会では、原稿の作成段階で助言等を行うとともに、がん教育授業において、本教材が積極的に活用されるよう活用事例を作成し、周知を行った。



【小学校版】



【中学校版】



【高等学校版】

(2) モデル校における取組

がん教育の推進を図るモデル校については、昨年度まで県内1校を設置してきたが、本年度は、がん教育のさらなる普及・啓発を図るため、県内小・中・高等学校の各1校ずつ3校を設定し、公開授業や授業研究等を通して、発達段階に応じたがんに対する正しい理解をめざした授業や外部講師の活用等について検証を行った。

【小学校】

学校名 鹿児島市立宇宿小学校
公開授業期日 令和4年11月17日
実施教科 第6学年「学級活動」
実施内容 がん経験者を講師とした
公開授業及び授業研究
参加者対象(数) 鹿児島市内小学校教職員
(56人)



【宇宿小学校公開授業】



【宇宿小学校授業研究】

【中学校】

学校名 鹿児島市立清水中学校
公開授業期日 令和5年1月24日
実施教科 第2学年「道徳」
実施内容 がん経験者を講師とした
公開授業及び授業研究
参加者対象(数) 鹿児島市内中学校教職員
(39人)



【清水中学校公開授業】



【清水中学校授業研究】

【高等学校】

学校名 県立曽於高等学校
公開授業期日 令和4年11月11日
実施教科 第2学年「保健体育科」
実施内容 がん経験者を講師とした
公開授業及び授業研究, 医療関係者による講演会
参加者対象(数) 大隅地区内小・中・高等
学校教職員(49人)



【曽於高校公開授業】



【曽於高校授業研究】

2. 事業の達成度について

(1) 自治体における取組

- ・ 教職員を対象とした研修会や医療関係者及びがん経験者等を対象とした研修会の開催, モデル校の小・中・高等学校各1校の設置, 県健康教育研究大会におけるがん教育分科会の新設など, 新たな取組を実施し, がん教育の普及・啓発につながった。
- ・ 県くらし保健福祉部健康増進課が作成した, がん教育の授業に活用できる「鹿児島県版の副教材」を広く周知し, 積極的な活用が図られた。
- ・ 昨年度作成した県がん教育外部講師リストを活用し, 県内小・中・高等学校30校にがん教育外部講師の派遣を行い, 医療関係者やがん経験者の声を届け, がんについての正しい理解, 命の大切さについて深く考える機会につなげることができた。

【研修会参加者の感想抜粋】

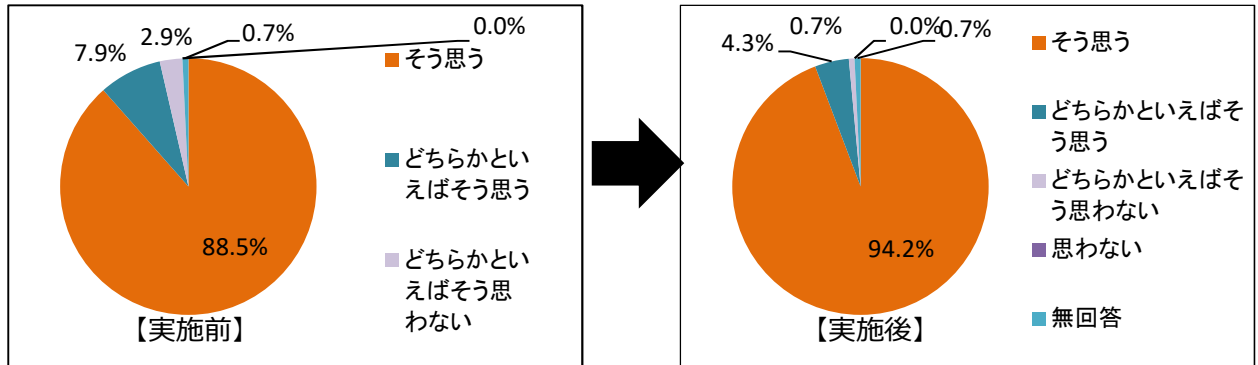
- ・ 様々な家庭環境の中で生活している子供たちがいる中で, 必要な配慮を授業者が理解しておかなければならないと感じた。学校に戻り, 職員と共有したい。
- ・ モデル校の実践発表から, がん教育は保健体育科の授業に限らず, 他教科とも関連付けながら学校の教育活動全体で取り組む必要があることが分かった。

(2) モデル校における取組

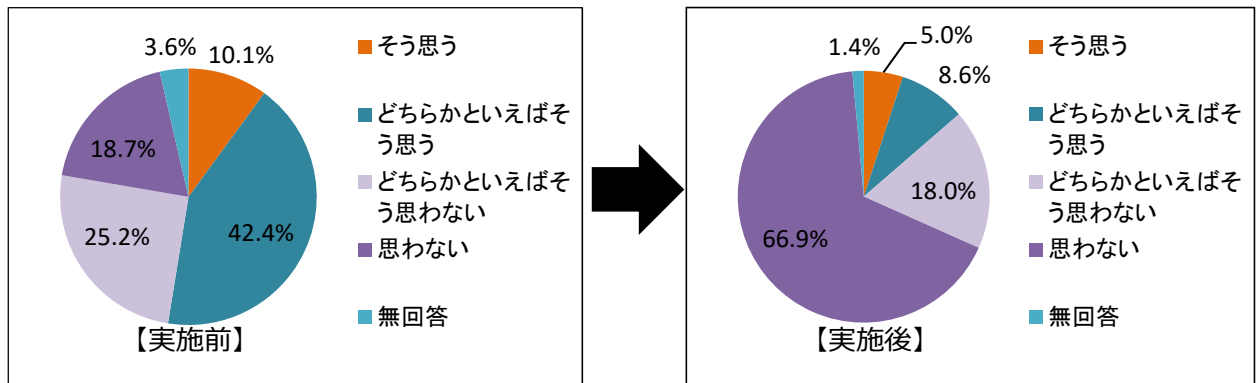
モデル校における公開授業や授業研究等を通して、発達段階に応じたがん教育授業の在り方等について検証を行うことができた。子供たちの感想やアンケートの結果からもがんや命についての意識の変容が見られた。

【生徒のアンケート結果】

【Q1-a がんの学習は健康な生活を送るために重要だ】



【Q3-a 自分はがんにならないと思う】



【授業の感想（子供の感想抜粋）】

- ・ 命はとても大切なもので、一度しかもらえないものなので、つらいことがあっても勇気をもっていこうと思いました。【小学校女子児童】
- ・ 今日のがんについての学習でしたが、生き方の学習でもありました。私は、今、友達とのことでとても悩んでいます。お話を聞いて「一人よりも二人」という言葉が心に残りました。一人で悩まず、いろいろな人を頼って相談しようと思いました。【中学校女子生徒】
- ・ がんになってしまって、つらかったはずなのに前向きに生きようとする姿がすごいと思いました。自分の命や生き方について改めて考えさせられました。【高等学校男子生徒】

3. 今後の課題及びその取組の方向性（今回の事業により新たに見えた課題など）

- ・ 本年度新たに位置付けたがん教育に関する研修会や講義を通して、多くの教職員や外部講師に対して学習指導要領に基づくがん教育について周知することができた。次年度以降も研修会等を引き続き実施し、教職員や外部講師の資質向上につなげるとともに、県内のがん教育のさらなる普及・啓発に努める必要がある。

4. モデル校以外での取組について（課題や今後整理すべき事項など）

- ・ がん教育モデル校の公開授業や研修会等を通して、外部講師の有効な活用について検証、周知できた。今後は、モデル校以外の学校への外部講師派遣を増やすとともに、派遣可能な外部講師数を増やしたい。関係団体等とも連携を図り、再度、外部講師リスト登録への協力要請を行う必要がある。